

米国小型バリュース株ファンド Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし) (愛称：アメリカン・エンジェル)

追加型投信 / 海外 / 株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国小型バリュース株ファンド Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)」は、2019年6月18日に第8期の決算を行いました。当ファンドは、主として米国の株式 (預託証券 (DR) を含みます。) のうち、小型株を中心に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書 (全体版) を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書 (全体版) は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

作成対象期間 2018年12月19日～2019年6月18日

第8期	決算日：2019年6月18日
-----	----------------

Aコース (為替ヘッジあり)

第8期末 (2019年6月18日)	基準価額	10,060円
	純資産総額	487百万円
第8期	騰落率	14.8%
	分配金合計	80円

Bコース (為替ヘッジなし)

第8期末 (2019年6月18日)	基準価額	10,096円
	純資産総額	12,379百万円
第8期	騰落率	12.3%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

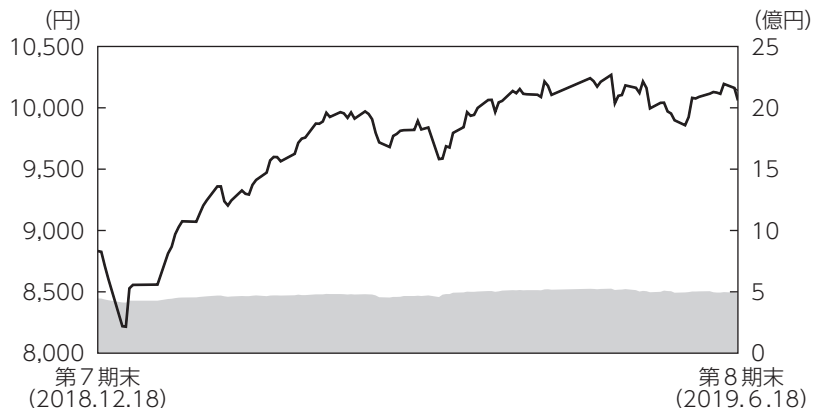
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）

■ 基準価額等の推移



第8期首： 8,832円
 第8期末： 10,060円
 （既払分配金80円）
 騰落率： 14.8%
 （分配金再投資ベース）

■ 純資産総額（右軸） ■ 基準価額（左軸） — 分配金再投資基準価額（左軸）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

米国小型バリュー株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行い、為替ヘッジを行った結果、保有銘柄が上昇したことなどによって、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	(2018年12月19日 ～2019年6月18日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	95円	0.991%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,615円です。
(投信会社)	(62)	(0.646)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(31)	(0.323)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.070	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(6)	(0.066)	
(投資信託証券)	(0)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.009	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(-)	(-)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	103	1.070	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

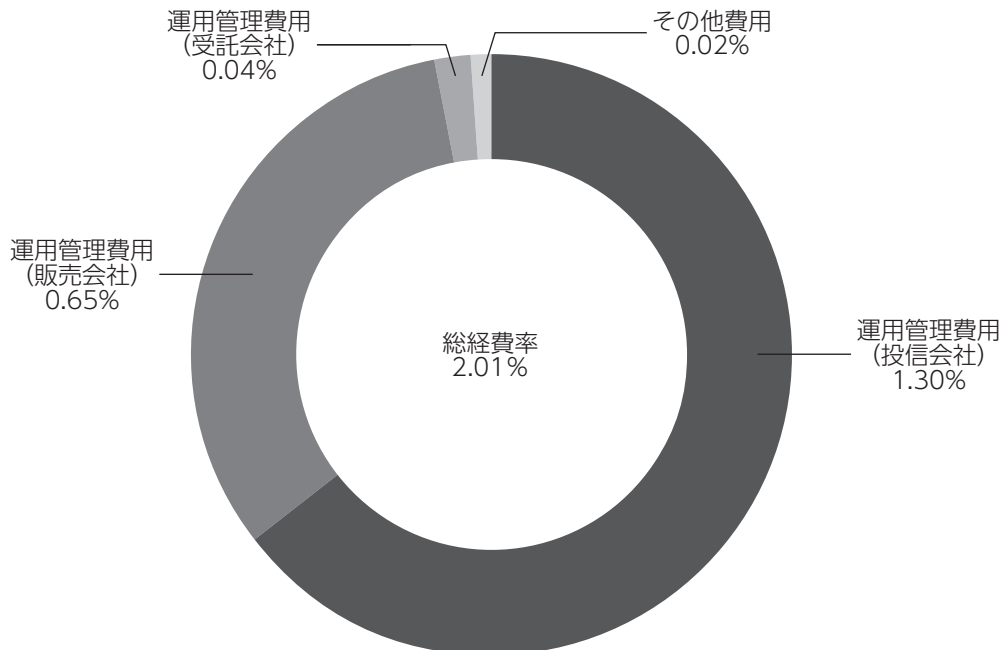
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



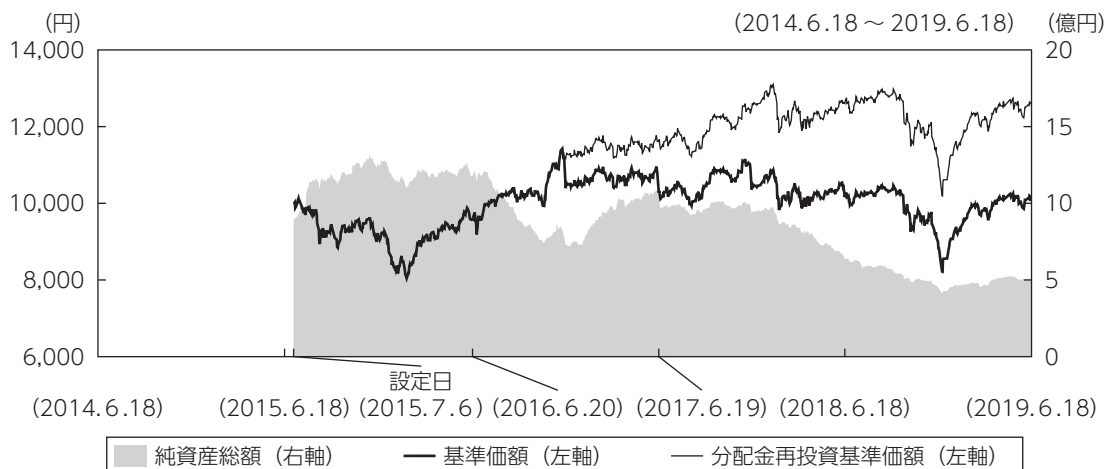
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



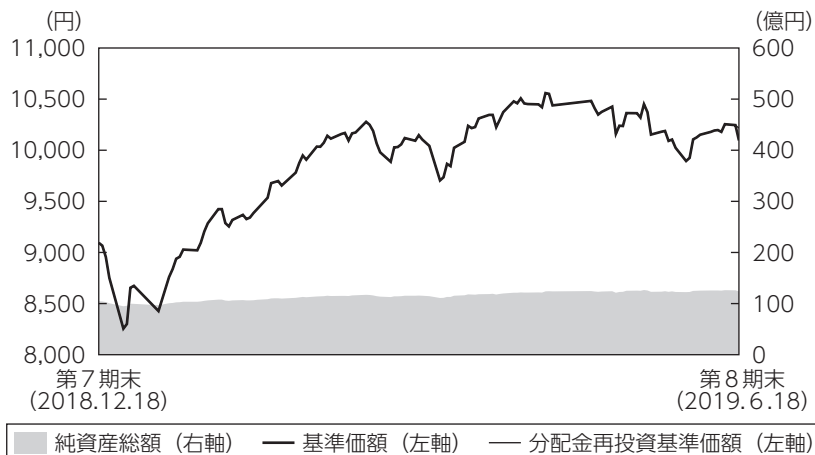
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額に合わせて指数化しています。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示してあります。

	2015年7月6日 設定日	2016年6月20日 決算日	2017年6月19日 決算日	2018年6月18日 決算日	2019年6月18日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	9,569	10,276	10,162	10,060
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	1,300	990	80
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△4.3	21.3	8.6	△0.2
参考指数の騰落率 (%)	—	△3.2	24.5	12.8	△11.7
純資産総額 (百万円)	895	1,177	1,026	636	487

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はRussell 2000 Valueインデックス配当込み (円ヘッジベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、Russell 2000 Valueインデックス配当込み (米ドルベース) をもとに当社がヘッジコストを考慮し算出したものです。なお、指数の算出にあたっては、基準価額との比較を考慮して前営業日の値を用いています。

■ 米国小型バリュー株ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

■ 基準価額等の推移



第8期首： 9,095円
 第8期末： 10,096円
 (既払分配金120円)
 騰落率： 12.3%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の変動要因

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行った結果、保有銘柄が上昇したことなどによって、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	(2018年12月19日 ～2019年6月18日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	97円	0.991%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,785円です。
(投信会社)	(63)	(0.646)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(32)	(0.323)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.071	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(7)	(0.067)	
(投資信託証券)	(0)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.009	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(-)	(-)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	105	1.072	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

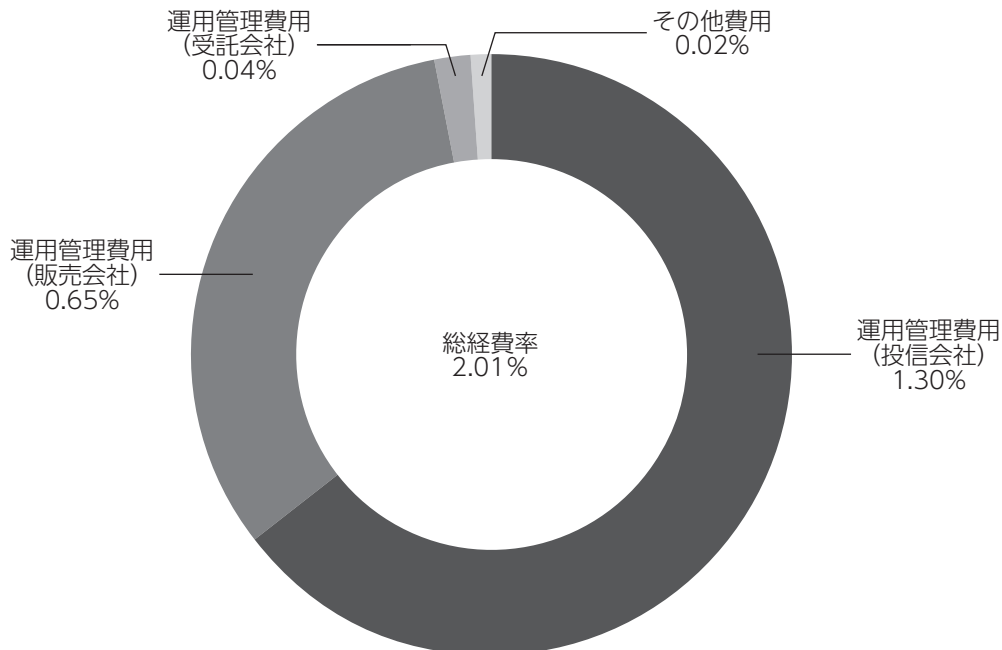
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



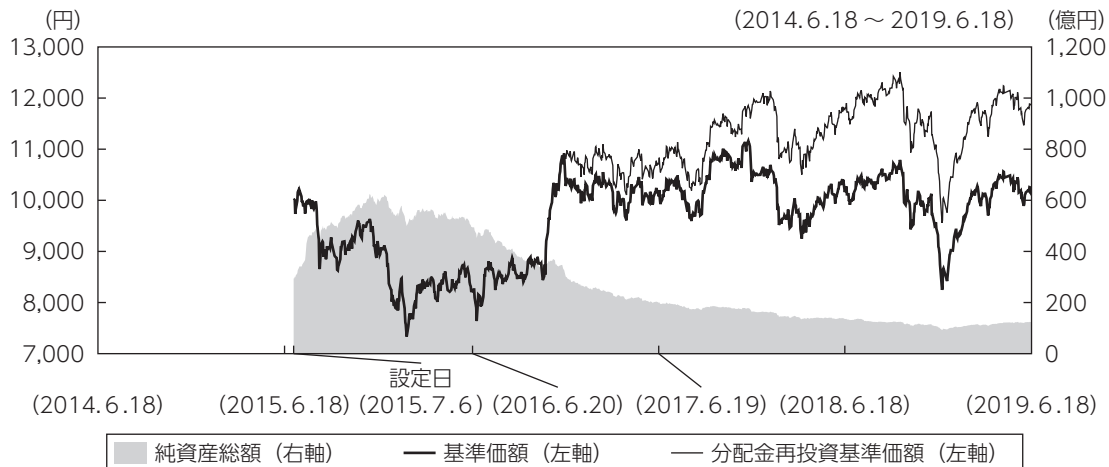
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額に合わせて指数化しています。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示してあります。

	2015年7月6日 設定日	2016年6月20日 決算日	2017年6月19日 決算日	2018年6月18日 決算日	2019年6月18日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	8,228	10,079	10,161	10,096
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	630	920	120
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△17.7	30.1	9.9	0.5
参考指数の騰落率 (%)	—	△17.0	33.0	14.1	△11.2
純資産総額 (百万円)	29,533	49,477	20,074	13,738	12,379

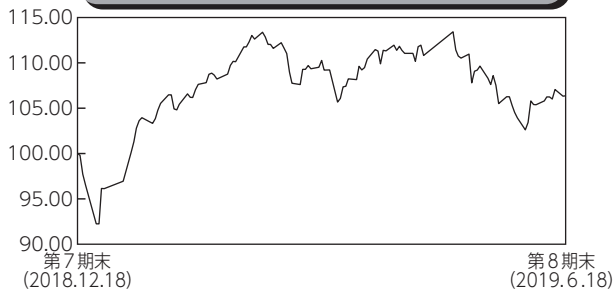
- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はRussell 2000 Valueインデックス配当込み (円換算ベース) です。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、Russell 2000 Valueインデックス配当込み (米ドルベース) をもとに当社が円換算したものです。なお、指数の算出にあたっては基準価額との比較を考慮して前営業日の指数 (米ドルベース) に当日の米ドル為替レート (対顧客電信相場仲値) で円換算しています。

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)

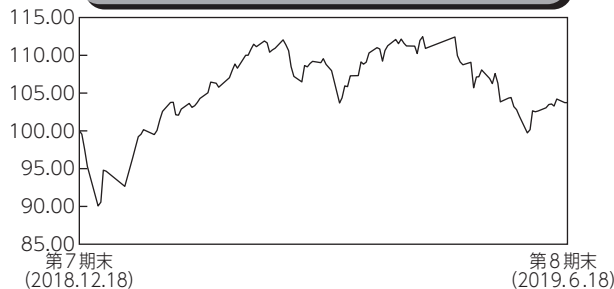
■ 投資環境

● 海外株式市況と為替市場

Russell 2000 Valueインデックス配当込み (円ヘッジベース) の推移

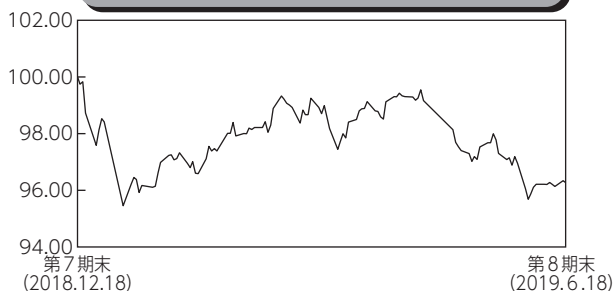


Russell 2000 Valueインデックス配当込み (円換算ベース) の推移



(注) 期首を100として指数化しています (以下同じ)。

米ドル/円相場の推移



<株式市場>

米国小型バリュー株は上昇しました。12月は、米中貿易摩擦などが懸念される中、下落しました。その後は、貿易摩擦懸念の高まりから下落する局面がありましたが、米連邦準備制度理事会 (F R B) が政策金利の引き上げに慎重姿勢を示したことや景気減速感懸念が和らいだことなどから上昇しました。

<為替市場>

為替市場では、F R B が政策金利の引き上げに慎重姿勢を示したことなどから、米ドルは円に対して下落しました。

ポートフォリオについて

●米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお実質外貨建資産に対しては、為替ヘッジを行いました。

●米国小型バリュー株ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお実質外貨建資産に対しては、為替ヘッジを行いませんでした。

●米国小型バリュー株マザーファンド

米国の小型株を主要投資対象とし、優秀な経営陣が株主資本を高収益事業に配分することで利益率を高め、キャッシュフローが着実に拡大しているにもかかわらず、事業価値が過小評価されている企業を選別し、銘柄入替や保有比率調整を実施しました。

上記の運用方針に沿った銘柄への選別投資を行った結果、業種配分については、情報技術やヘルスケアへの投資比率が高めとなりました。また、株式組入比率は高位を維持しました。

[基準価額の主な変動要因]

(主なプラス要因)

- ・ユーロネット・ワールドワイド（情報技術）などの株価上昇
- ・米国小型バリュー株全体の上昇

(主なマイナス要因)

- ・ガルフポート・エナジー（エネルギー）などの株価下落

〔上位5業種〕 (2019年6月18日現在)

順位	業種	比率
1	金融	33.5%
2	資本財・サービス	13.3%
3	情報技術	12.1%
4	不動産	9.8%
5	一般消費財・サービス	7.3%

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合を表示しています。

(注2) 業種は、世界産業分類基準（GICS）の11セクターに基づいて分類しています。

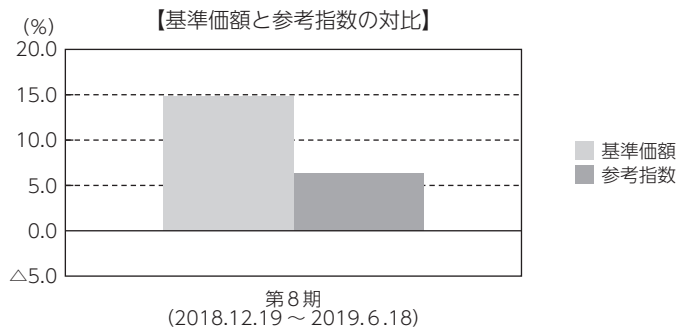
〔上位5銘柄〕 (2019年6月18日現在)

順位	銘柄	業種	比率
1	ユーロネット・ワールドワイド	情報技術	4.3%
2	エクイティ・コモンウェルス	不動産	4.3%
3	アクシス・キャピタル・ホールディングス	金融	4.1%
4	ペリント・システムズ	情報技術	4.0%
5	リパティ・エクスペディア・ホールディングス	一般消費財・サービス	3.6%

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年12月19日 ～2019年6月18日
当期分配金（税引前）	80円
対基準価額比率	0.789%
当期の収益	67円
当期の収益以外	12円
翌期繰越分配対象額	59円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

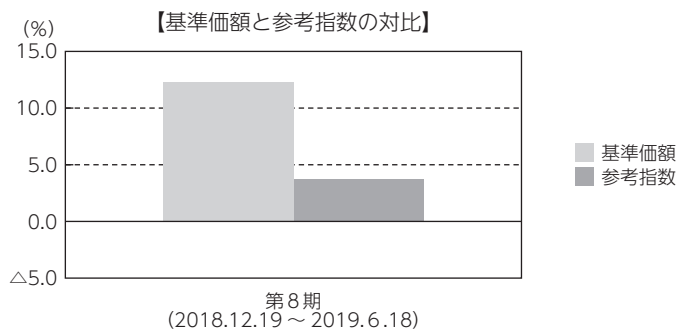
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■ 米国小型バリュー株ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年12月19日 ～2019年6月18日
当期分配金（税引前）	120円
対基準価額比率	1.175%
当期の収益	65円
当期の収益以外	54円
翌期繰越分配対象額	373円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

- 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）
マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。なお実質外貨建資産に対しては、引き続き為替ヘッジを行う方針です。
- 米国小型バリュー株ファンド Bコース（為替ヘッジなし）
マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。なお実質外貨建資産に対しては、原則として為替ヘッジを行いません。
- 米国小型バリュー株マザーファンド
株式市場は今後も通商問題、景気動向、金融政策等に左右されるボラティリティの高い相場展開が想定されますが、割安なバリュエーションで投資を行う機会も増えるとみています。米中貿易摩擦、米連邦準備制度理事会の金融政策といったマクロ動向を注視しつつ、優秀な経営陣が株主資本を高収益事業に配分することで利益率を高め、キャッシュフローが着実に拡大しているにもかかわらず事業価値が過小評価されている小型企業を選別し、投資を行う方針です。

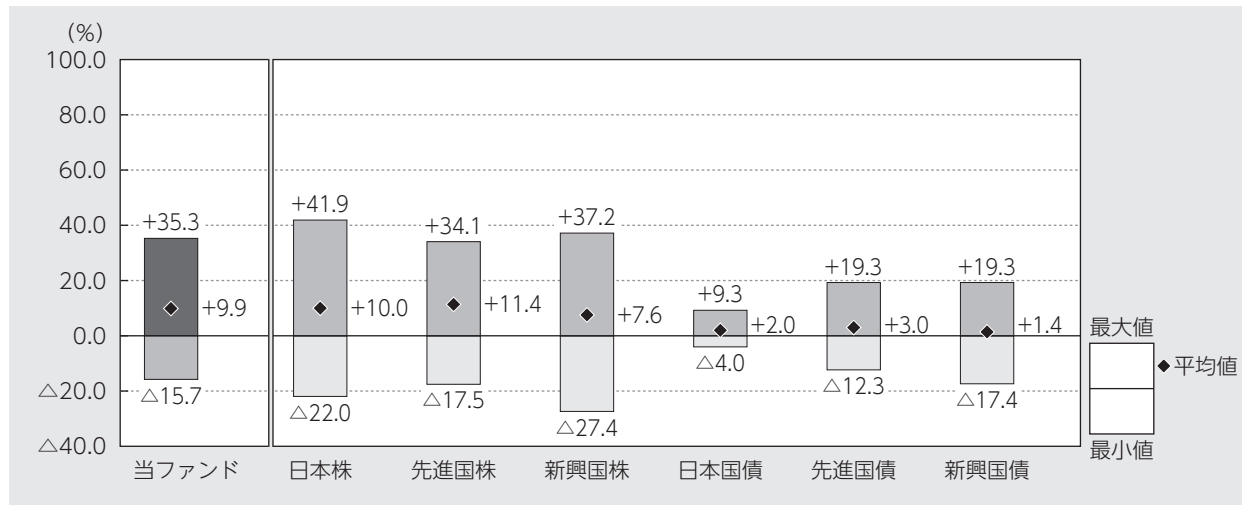
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年7月6日から2025年6月18日までです。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	主として、米国の株式（預託証券（DR）を含みます。以下同じ。）のうち、小型株を中心に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	米国小型バリューストックファンド Aコース（為替ヘッジあり）/ Bコース（為替ヘッジなし）	米国小型バリューストックマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	米国小型バリューストックマザーファンド	米国の小型株を主要投資対象とします。
運用方法	米国小型バリューストックマザーファンドを通じて米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している株式のうち、小型株に投資を行います。 組入外貨建資産に対して、Aコースは原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図り、Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。 米国小型バリューストックマザーファンドの運用の指図に関する権限の一部（有価証券等の運用の指図に関する権限）をビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。	
分配方針	毎決算時（原則として毎年6月18日および12月18日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）



2014年6月～2019年5月

(注1) 上記のグラフは2014年6月から2019年5月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。また、当ファンドについては、ファンドの設定日（2015年7月6日）から2019年5月までの1年騰落率（2016年6月は対当初元本（10,000円）の騰落率）の平均・最大・最小を表示しています。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

* 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

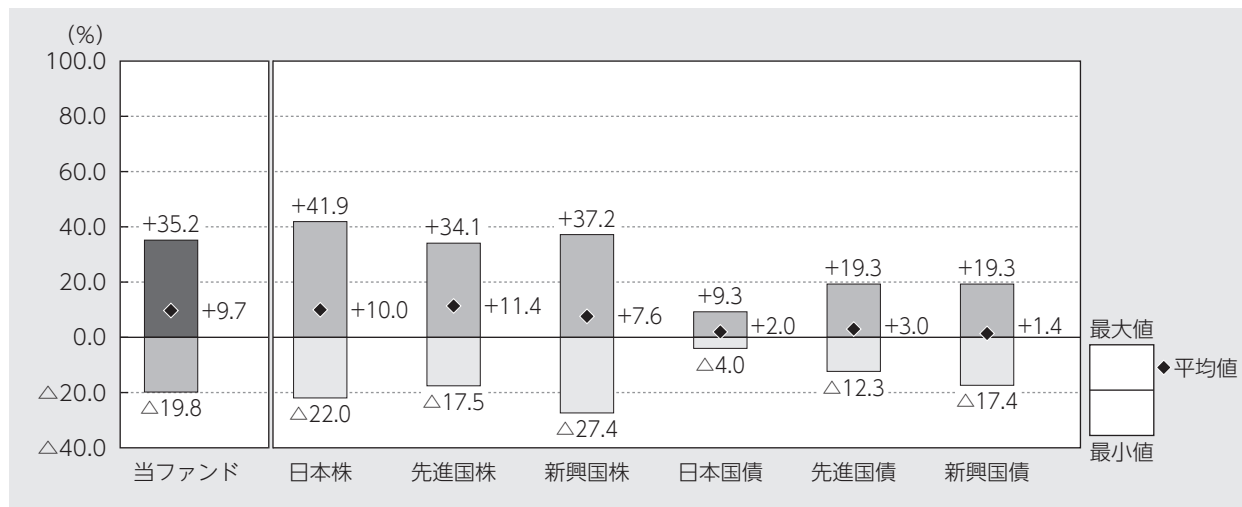
先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

■ 米国小型バリュー株ファンド Bコース (為替ヘッジなし)



2014年6月～2019年5月

(注1) 上記のグラフは2014年6月から2019年5月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。また、当ファンドについては、ファンドの設定日（2015年7月6日）から2019年5月までの1年騰落率（2016年6月は対当初元本（10,000円）の騰落率）の平均・最大・最小を表示しています。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

■ 米国小型バリュー株ファンド Aコース（為替ヘッジあり）

■ 当ファンドの組入資産の内容（2019年6月18日現在）

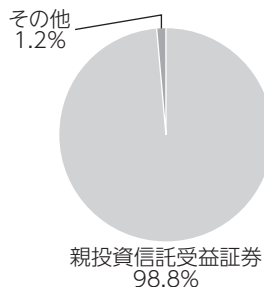
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2019年6月18日
米国小型バリュー株マザーファンド	98.8%

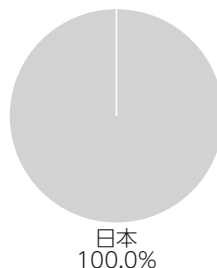
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

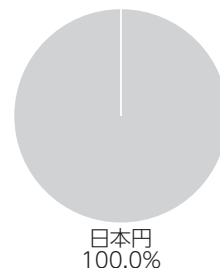
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆為替ヘッジ比率

比率
101.4%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注3) 為替ヘッジ比率は、組入外貨建資産に対する割合です。

純資産等

項目	当期末
	2019年6月18日
純資産総額	487,235,167円
受益権総口数	484,331,729口
1万口当たり基準価額	10,060円

(注) 当期中における追加設定元本額は64,251,958円、同解約元本額は84,733,910円です。

■ 米国小型バリュー株ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2019年6月18日現在)

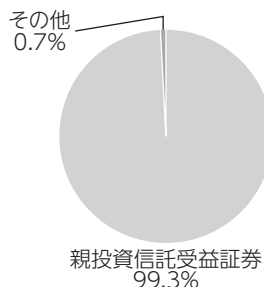
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2019年6月18日
米国小型バリュー株マザーファンド	99.3%

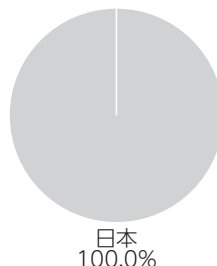
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

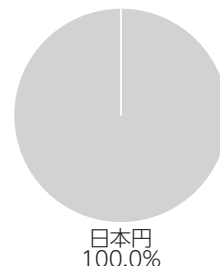
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計 (除く現金) に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

■ 純資産等

項目	当期末
	2019年6月18日
純資産総額	12,379,268,097円
受益権総口数	12,261,730,028口
1万口当たり基準価額	10,096円

(注) 当期中における追加設定元本額は2,218,009,342円、同解約元本額は1,473,908,190円です。

組入ファンドの概要

[米国小型バリュー株マザーファンド] (計算期間 2018年6月19日～2019年6月18日)

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

項目	(2018年6月19日～2019年6月18日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	12,319	—
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	20 (18) (1)	0.160 (0.150) (0.010)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (2) (1)	0.028 (0.020) (0.008)
合計	23	0.189

◆組入上位銘柄

[株式]

(組入銘柄数：59銘柄)

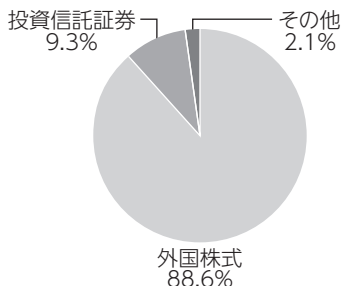
順位	銘柄	業種	通貨	比率
1	EURONET WORLDWIDE INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	4.3%
2	AXIS CAPITAL HOLDINGS LTD	保険	米ドル	4.1%
3	VERINT SYSTEMS INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	4.0%
4	LIBERTY EXPEDIA HOLD-A	小売	米ドル	3.6%
5	WHITE MOUNTAINS INSURANCE GP	保険	米ドル	3.3%
6	HOSTESS BRANDS INC	食品・飲料・タバコ	米ドル	3.0%
7	MERCURY GENERAL CORP	保険	米ドル	2.9%
8	GRAPHIC PACKAGING HOLDING CO	素材	米ドル	2.6%
9	ATKORE INTERNATIONAL GROUP I	資本財	米ドル	2.5%
10	PENSKE AUTOMOTIVE GROUP INC	小売	米ドル	2.5%

[投資信託証券]

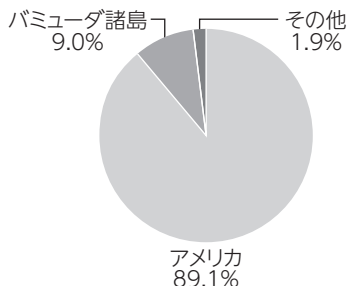
(組入銘柄数：5銘柄)

順位	銘柄	通貨	比率
1	EQUITY COMMONWEALTH	米ドル	4.3%
2	SPIRIT REALTY CAPITAL INC	米ドル	2.1%
3	AMERICAN ASSETS TRUST INC	米ドル	1.2%
4	REDWOOD TRUST INC	米ドル	0.9%
5	TERRENO REALTY CORP	米ドル	0.8%

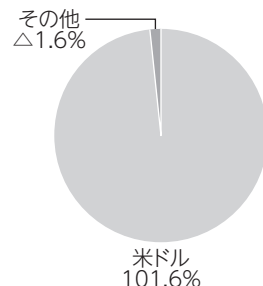
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別、国・地域別および通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものです。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計(除く現金)に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。そのため、その他を除く配分比率の合計が100%を超過する場合にはマイナス表示になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●Russell 2000 Valueインデックス

Russell 2000 Valueインデックスはラッセル・インベストメント・グループが開発した指数であり、著作権等の知的財産その他一切の権利はラッセル・インベストメント・グループに帰属します。ラッセル・インベストメント・グループは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

